

シンポジウム

温室効果ガス排出量報告制度に基づく情報の活用と評価

～報告された温室効果ガス排出量から、その企業の価値評価のあり方を考える～

地球温暖化対策推進法に基づいて、一定規模以上の企業から、はじめて温室効果ガス排出量が報告され、国によりその情報が公表されました。

今回、この公表された温室効果ガス排出量報告情報を活用して、各事業所が温暖化対策にどれだけ努力しているかを、単純な排出量を比較するのではなく、多面的な観点から共通の評価指標を探し出し、これを用いて同業種の企業を同じ土俵で比較することの可能性を探りました。

また、各企業の自主的な情報提供のあり方、企業としての価値評価の考え方等について、報告者を中心に議論を進めていきます。

ぜひ、ご参集の上、議論に参加していただければ幸いです。

日 時	2009年3月15日(日) 13:30～16:30
会 場	上智大学 中央図書館 921会議室 アクセス JR、地下鉄 四ツ谷駅徒歩3分 (日曜日は、土手沿いの正門からの入校になります。)
共 催	NPO法人 環境創生研究フォーラム 上智地球環境学会

プログラム(予定)

(1) 開会・趣旨説明

大阪学院大学経営学部教授 山中芳夫氏

(2) 報 告

- ・温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度について

(株)地域計画建築研究所 畑中直樹氏

- ・温室効果ガス排出量と内外の企業価値評価の動向について

KPMGあずさサステナビリティ(株) 家弓新之助氏

- ・温室効果ガス排出量と企業価値評価の試みについて

NPO法人環境創生研究フォーラム 菊井順一氏

- ・日本公認会計士協会による「気候変動情報の開示に関する提言」について

日本公認会計士協会経営研究調査会CSR保証専門部会長 沢味健司氏

(3) 討 論

- ・コメンテーター 上智大学大学院地球環境学研究科教授 柳下正治氏

(※予定は変更になる可能性がありますので予めご了解ください。)

参加費 資料代として500円

申込み お申込みは、氏名、連絡先をTEL、FAX、E-mailにて下記までご連絡下さい。

お問合せ 〒540-0024

大阪市中央区南新町1-4-8

NPO法人環境創生研究フォーラム

TEL: 06-6945-0988 FAX: 06-6942-1853

e-mail: kankyosei@eos.ocn.ne.jp

このシンポジウムは、地球環境基金の助成を受けて開催します。

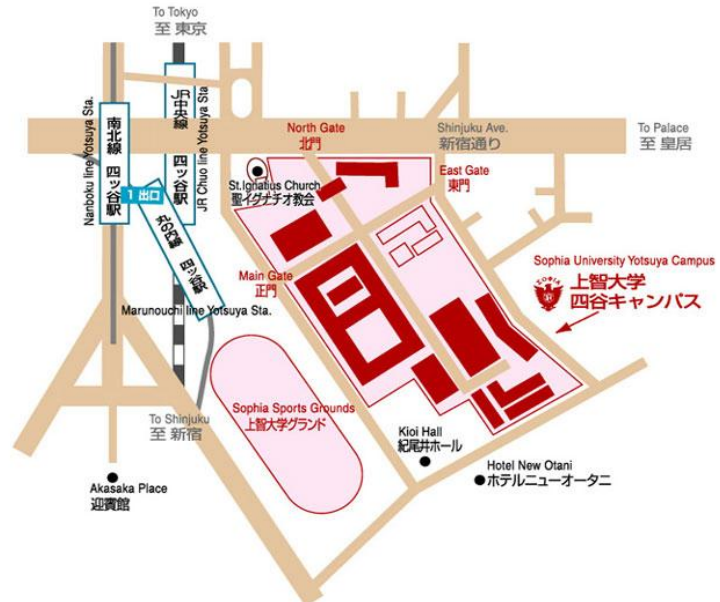
東京会場へのアクセス

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

JR 中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線/四ツ谷駅 麹町口・赤坂口から徒歩5分

キャンパス内には駐車場がありません。下記のホームページにて周辺の駐車場をご利用ください。

会場の中央図書館は、下図の「上智大学四ツ谷キャンパス」の矢印の左の大きな建物です。



特定非営利活動法人 環境創生研究フォーラムの概要

1 設立趣旨

我々人類は、豊かな生活を求めて科学技術の驚異的な発展と市場のグローバル化の形成などにより、繁栄と破壊の20世紀を力強く生きてきました。しかし、この間、大気汚染、水質汚濁などの様々な公害問題を起こすとともに、人類が過去1000年間に経験したことの無い二酸化炭素濃度の上昇による温暖化現象などの各種の地球環境問題が起りました。

かかる20世紀に犯した人類の誤りという共通認識に立ち、21世紀において、これからの市民社会が希求する「健康」「安全・安心」「快適」な環境を創生していくことが必要です。

そこで、地球環境の保全・回復及び地域環境の修復・再生・創生にかかる調査研究を行い、あわせて国内外の人的・組織的な交流と研究ネットワークを構築し、環境を基軸とした持続的な市民社会の実現に寄与することを目的としたNPO法人 環境創生研究フォーラムを設立しました。

2 設立日 平成20年4月8日

3 役員

理事長	小林 悦夫	理事	今井 紘一
理事	村岡 浩爾	理事	久野 武
理事	八木 康雄		
理事	山中 芳夫		
監事	中嶋 國勝	監事	西村 明光

4 事業の内容

- ① 研究にかかる情報の収集
- ② 研究者ネットワークの構築
- ③ 環境創生等にかかる提言
- ④ 研究者の研究助成金申請等の支援
- ⑤ 各種講演、シンポジウムの開催支援

5 現在行っている事業

- ① 科学技術振興機構「科学技術と社会の相互作用」による研究事業
「海域環境再生（里海創生）社会システムの構築」

② 地球環境基金による事業

「温室効果ガス排出量の実態把握及び評価解析並びに情報提供活動」